

読み終わったら保護者の方にも読んでもらいましょう。



進路だより

第11号

平成30年10月30日発行
宮城県小牛田農林高等学校

進路決定状況(10/29 現在)

民間企業内定数 57名 (民間企業希望者 58名)

管内	37名	(農業技術科 男 12 女 7)	総合学科 男 8 女 10)
県内	18名	(農業技術科 男 6 女 7)	総合学科 男 1 女 4)
県外	2名	(農業技術科 男 1 女 0)	総合学科 男 1 女 0)

本校内定率 98.3%

9月末現在の宮城県内高校内定率 48.4%

同ハローワーク古川管内内定率 58.6%

8月末時点での宮城県内求人倍率 3.23倍

(高校生一人に対して3件以上の求人がある
ということの意味します。)

本校の内定率は県内の他校と比べても非常に高い数値です。

この状態は「売り手市場」と呼ばれます。

公務員 (最終合格数) (公務員希望者 17名)

陸上自衛隊 4名 (一般曹候補生 (農業技術科 男1) 自衛官候補生 (総合学科 男3))

※一次合格 18 (ひとりでの複数合格含む)

国家一般職, 宮城県 (土木, 林業)

大崎市, 美里町, 宮城県警察事務

警察官 (宮城, 青森, 警視庁)

現在, 二次試験受験中です。11月中旬に最終合格発表です。



進学 (進学希望者 121名)

AO入試での合格発表が行われています。多くの生徒がAO合格を果たしています。また、推薦入試も始まり、こちらも早いところではすでに合格発表がされています。

推薦入試はこれから本格化します。小論文指導や面接練習にしっかり取り組んで試験に臨みましょう。

読み終わったら保護者の方にも読んでもらいましょう。

高校生のためのものづくり企業見学会

10月25日（木）に、県内製造業への理解を深めるとともに職業観を醸成することを目的に、主に製造業への就職を希望する2年生26名を対象に行われました。これは宮城県経済商工観光部産業人材対策課が企画したもので、年度初めから関係各所と連携し、準備を進めてきたものです。午前中は大和町の大和流通工業団地に立地するプライムアースEVエネルギー（株）宮城工場を見学しました。午後は美里町北浦の株式会社東北イノアックを見学しました。ここではOBの佐々木璃央さん（H29年度卒。採用1年目。農業土木コース）が説明を担当してくれました。

両社とも、長年に渡り、本校卒業生がお世話になっている企業で、来年度もそれぞれ3名、2名がすでに内定をいただいています。



自分の進路の選択肢の一つである製造業について知るために、今回のものづくり企業見学会に参加しました。この見学会では、プライムアースEVエネルギー（株）宮城工場と株式会社東北イノアックに見学に行きました。実際の作業しているところを見学させていただき、素早く、正確な作業が必要になることがわかりました。今後は、それぞれの企業で説明していただいたことを活かし、自分の進路を決定できるようにしていきたいです。

久喜 隆平（2-2 古川北中）

私は元々就職希望だったためこの企業見学会に参加することを決めました。製造業の最初のイメージは黙々と作業を進めるだけの、やりがいのない仕事だと思っていました。ですが、今回の企業見学会を通して、よくコミュニケーションをとり、「自分の作っているものを使っている人がいる」というやりがいや達成感を感じる素晴らしい職業だと学びました。今回の見学会で学んだことを自分の進路に活かしていこうと思います。

島 穂乃花（2-5 不動堂中）

本校でも製造業への就職希望は多く、今年度も民間企業就職希望生徒の58名中32名が製造業関連企業からの内定をいただいています。これを機に製造業への理解を深め、正しい職業観を持って就職活動に取り組んでくれることを期待します。また、就職後のミスマッチ（「実際のイメージと違う」などと思うこと）を予防することにもつながると考えられます。本校卒業生の離職率は他と比べて低いといわれています。しかし、残念ながら様々な理由で辞めてしまう卒業生もいます。一生懸命に選んだ就職先を簡単に離れることのないよう、一生に一度の重大な選択をしっかりとできるようにしましょう。